

Game Prep Report | 試合前レポート

Fighters Intelligence Lab(非公式・個人分析プロジェクト)

試合情報

対戦カード	ファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークス
試合日	2026年7月16日(ホーム)
球場	エスコンフィールドHOKKAIDO
予想先発	伊藤(F) vs 未定(H)
データ更新日	2026年7月15日

Executive Summary | 要点まとめ

首位ソフトバンク3連戦は1勝1敗で最終戦へ。今季の対ソフトバンクは2勝11敗0分で、5カード目にして初のカード勝ち越しが懸かる。昨日は初回先制から主導権を握る理想の展開で7-6と競り勝ったが、2日連続で9回に3失点しており、終盤の締めが最大の不安材料。今日も先制・序盤加点の型を再現しつつ、9回のマネジメントを整えられるかが焦点になる。

Key Metrics | 重要指標

指標	数値	評価	補足
今カード成績	1勝1敗	Neutral	7/14● → 7/15○
対ソフトバンク	2勝11敗0分	Risk	今季カード勝ち越しなし
直近5試合勝敗	2勝3敗0分	Watch	7/10～7/15
先制時勝率	.681	Good	先制時 32勝15敗0分
9回の失点(直近2試合)	6点	Risk	2日連続で9回に3失点
平均得点(直近5)	3.8	Neutral	1試合あたり
万波 7月OPS	1.062	Good	打率.351と絶好調
相手中軸OPS	.997 / .912	Risk	近藤 / 栗原

Matchup Focus | 対戦の注目点

Fighters	福岡ソフトバンクホークス
----------	--------------

打線状態: レイエス(OPS.959)に加え、万波が7月打率.351・OPS1.062と絶好調。昨日も序盤4イニング連続得点。	打線状態: 近藤(OPS.997)・栗原(25本)の中軸は昨日も9回の猛追を主導。最後まで気を抜けない。
先発投手状態: 未発表。中5日なら伊藤大海(防3.07)の登板が可能な日程。	先発投手状態: 未発表。
ブルペン状態: 7/14・7/15と2日連続で9回に3失点。リード時の9回の運用が課題。	チーム状態: 首位を維持。ただし対ファイトーズ連勝は昨日止まった(11勝2敗)。
最近の試合傾向: 直近5試合2勝3敗0分。先制時勝率.681で、昨日も先制からの逃げ切り。	最近の傾向: ピハインドでも終盤に集中打が出る。逆にリードを許した序盤～中盤は淡白な傾向。

Key Players | 注目選手

区分	選手	直近成績	ポイント
Fighters	万波中正外野手	7月 打率.351 / OPS1.062	6月の不振(OPS.575)から一転、7月は打撃全部門で急上昇。期待: 序盤の先制打。相手先発の立ち上がり攻略の中心。
Fighters	レイエス外野手	打率.320 / 20本 / OPS.959	シーズン通して安定した中軸。勝負を避けられても出塁が攻撃の起点になる。期待: 走者ありの場面での長打。
Fighters	柳川大晟投手	19S / 防御率2.40	2日連続で9回に失点が出ている流れを断ち切りたい守護神。期待: 9回を三者凡退で締めて連戦の疲労連鎖を止められるか。
Opponent	近藤健介外野手	打率.296 / 20本 / OPS.997	昨日の9回の猛追も中軸から。試合終盤ほど怖い打者。対策: 終盤、走者を置いて回さない。
Opponent	栗原陵矢内野手	25本 / 62打点 / OPS.912	本塁打はチームトップ。一発が試合を壊す。対策: 低め徹底。カウント有利でも甘い球は禁物。

Risk Factors | 注意すべき要因

リスク	レベル	説明	対応仮説
9回の失点連鎖	High	7/14は同点の9回に勝ち越しを許して敗戦、7/15は7-3のリードを7-6まで詰められた。	9回開始時の点差と相手打順で継投を事前に決めておく。近藤・栗原に回る場合は左の島本の起用も選択肢。
対ソフトバンクのカード成績	Medium	今季4カードで勝ち越しなし(0-3, 0-2, 0-3, 1-2)。3連戦最終戦の勝敗が心理面に与える影響は大きい。	先制で相手の淡白な展開に持ち込む。昨日の成功体験をそのまま再現する。

デーゲーム3連戦の疲労	Low	3日連続13時開始。ブルペンは3連投のリスクを抱える。	中盤までに点差を作り、勝ちパターン以外で終盤を賄える展開が理想。
-------------	-----	-----------------------------	----------------------------------

Game Plan Hypothesis | 試合プランの仮説

昨日の勝ち筋の再現が基本線。相手先発の立ち上がりを攻めて先制し(先制時勝率.681)、中盤までに2点差以上を確保する。9回は点差に関係なく近藤・栗原に回る打順を意識した継投で、走者を置いた状態で中軸と勝負しない。カードを勝ち越せば、対ソフトバンクの心理的な壁を崩す今季最大の収穫になる。

Data Notes | データについて

使用データ	NPB公式サイト、公開されている試合結果・個人成績、イニングスコア等
集計対象期間	2026年シーズン、対象カードの過去対戦成績
データ取得日	2026年7月15日
データ入力方法	公開データをもとに手動入力、またはCSVインポートにより登録
注意事項	使用データ: NPB公式サイト(npb.jp)の試合結果・個人成績、プロ野球Freakのイニングスコア、スポーツナビの月別成績を独自集計 集計対象期間: 2026年3月27日～7月15日(全88試合) 注意事項: 本レポートは非公式の個人分析であり、球団・NPBとは関係ありません。先発投手は未発表のため未記載。

本サイトは北海道日本ハムファイターズ、NPB、その他関連団体とは関係のない非公式の個人分析プロジェクトです。